

竹澤治希様（薬剤師会実習生見学、城西大学）

この度は在宅診療見学会という非常に貴重な経験をさせていただきましてありがとうございました。医師との診療というものを初めて行ったので、何もかもが新鮮であり、1日間が非常に短く感じました。

今回の在宅診療を経験させていただいて感じたことは「将来の在宅医療には、薬剤師が必要不可欠であること」「患者様だけでなく、介護を行う方の負担や心配・不安を取り除くことも重要である」ということです。

在宅診療を24時間365日対応できる医師には限りがあります。しかし、超高齢社会という大きな問題を抱えている日本では、高齢者の患者様が增加する一方です。そこで、薬剤師が訪問し、患者のバイタルサインを行ったり、薬学的知見に基づいてアドバイスをおこなうことで患者だけでなく医師の負担も減らせるのではないかと思います。また、診療を通して患者だけでなく「介護を行う方の心の負担」を減らす場面を何回も拝見させていただきました。病院や診療所ではなかなか出来ないことだと思います。在宅診療、患者様の自宅だからこそできることだと感じました。

この度の貴重な経験で、私の将来の薬剤師像が鮮明になりました。まだまだ知識が足らず、何も知らない身ではございますが私のような学生を大変温かく迎え入れていただき、心から感謝しております。桜新町アーバンクリニックの皆様のみますますのご活躍と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

この度は本当にありがとうございました。